

日本工営株式会社
2021 年 7 月 16 日

令和 3 年度 東京都の自動運転移動サービス実現に向けた サービスモデルの構築に関するプロジェクトが決定

－ 西新宿、臨海副都心エリアで自動運転プロジェクトを実施 －

日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：新屋浩明 以下「日本工営」）は、東京都の自動運転移動サービス実現に向けたサービスモデル構築に関するプロジェクトを受託し、自動運転移動サービスの実証支援や事業化に向けた検証等を行う事業プロモーター業務を務めています。今年度は、西新宿エリアと臨海副都心エリアを対象に自動運転の実証実験プロジェクトを募集していましたが、この度、実施プロジェクトが決定いたしました。

東京都では「未来の東京」戦略において、2025 年の無人自動運転による移動サービスの実現を政策目標として掲げているとともに、「スマート東京実施戦略」においても、自動運転の実用化により、都の課題解決を目指しています。西新宿エリアは、輸送ニーズの高い地域特性を持ち、かつ、「スマート東京先行実施エリア」として、先行的に 5G を整備していることから、当該エリアにおける自動運転の早期事業化(2023 年度)を目指しています。また、臨海副都心エリアでは、自動運転技術を活用して地域の課題である回遊性の向上や、賑わいの創出につなげることを目指し、今年度より実証実験を開始します。

日本工営では、本プロジェクトを通じて自動運転移動サービスの事業化に向けた課題抽出、採算性やニーズの分析等により自動運転移動サービスの早期実用化の促進を目指します。

1. 概要

事業プロモーター（日本工営）が、自動運転技術と様々なコンテンツを組み合わせたプロジェクトを募集し、優れた取り組みを選定します。プロジェクトの実施に係る支援を行うとともに、実証を通じて得られた結果をもとに法的課題や採算性等を検証します。



2. 選定結果

- 別紙 1「選定プロジェクト（西新宿エリア）」
- 別紙 2「選定プロジェクト（臨海副都心エリア）」

3. 実施時期（予定）

年度内にそれぞれ 2 週間から 3 週間程度

4. その他

各プロジェクトの情報は、以下の特設 HP に掲載します。

URL： <https://autonomouscar-tokyo.jp/>

－お問合せ先－

日本工営株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

TEL : 03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.n-koei.co.jp/>

選定プロジェクト(西新宿エリア)

【テーマ】 都心部特有の自動走行困難な営業ルートでの自動運転バス運行実証

【プロジェクト実施者】 京王電鉄バス株式会社

京王バス株式会社 / 京王電鉄株式会社 / 株式会社京王エージェンシー / 日本モビリティ株式会社 / ソフトバンク株式会社 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 / MS&ADインターリスク総研株式会社 ほか



※写真は車両イメージであり、実際に使用する車両とは異なります。

【主な実施概要】

- ・車外カメラ画像やセンサー情報を5Gの大容量通信で送信し、遠隔監視に活用
- ・顔認証情報を5Gの低遅延通信で送受信し、将来の運賃収受サービスの検証等に活用
- ・アプリを活用して自動運転バスの位置情報や車内混雑情報をリアルタイムで提供

【実験車両概要】

- ・日野ポンチョロング2ドアをベースとした自動運転バス
- ・従来の自動走行機能 (GNSSやLiDARのスキャンマッチング機能) に加え、LiDARの白線・縁石認識機能を高度化

【実施予定時期】

令和3年11月から令和4年1月までの2～3週間程度

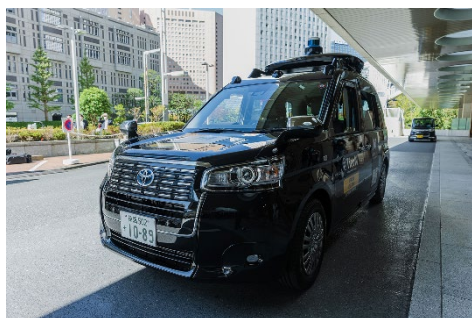
【実施予定箇所】

- ・新宿駅西口 ～ 都庁 ～ 都議会議事堂 ～ 新宿駅西口

【テーマ】 まちのインフラと協調した自動運転サービスの運行実証

【プロジェクト実施者】 大成建設株式会社

株式会社ティアフォー / 損害保険ジャパン株式会社 / KDDI株式会社 / アイサンテクノロジー株式会社 / 日本信号株式会社 / 大成ロテック株式会社 / 株式会社プライムアシスタンス



【主な実施概要】

- ・信号や道路等に設置したセンサー情報を5Gの低遅延通信で送信し、走行支援に活用
- ・非GPS環境であるトンネルの壁面改良による自車位置推定の精度を向上
- ・カメラ画像や車両情報を5Gの大容量低遅延通信でコネクテッドサポートセンターへ送信し、複数台同時の遠隔見守りに活用

【実験車両概要】

- ・トヨタJPN TAXI 匠をベースとした自動運転車両
- ・LiDARのスキャンマッチング等による自動走行機能に加え、インフラ支援情報による走行性向上、路上駐車回避機能等を拡充

【実施予定時期】

令和3年11月から令和4年1月までの2～3週間程度

【実施予定箇所】

- ・新宿駅西口 ～ 都庁 ～ 新宿駅西口

【実施パートナー】

- ・小田急電鉄株式会社

《事業に関するお問合せ先》

『自動運転技術を活用したビジネスモデル構築に関するプロジェクト』

受付窓口(日本工営(株)コーポレートコミュニケーション室) メール: c-com@n-koei.co.jp 電話: 03-5276-2454

選定プロジェクト(臨海副都心エリア)

【テーマ】 自動運転車両を活用した臨海副都心エリアにおける新たなモビリティサービスの実証

【プロジェクト実施者】株式会社 Mobility Technologies



実施予定箇所イメージ

【主な実施概要】

自動運転車両を活用した臨海副都心エリアにおける新たなモビリティサービスの実用性等について、協力会社と連携し、実環境を想定した実証を行う。

【実験車両概要】

- ・国産自動運転車両を使用
- ・安全性に配慮し車内に搭乗員を配置の上、自動運転レベル2相当で運行予定

【検証内容】

- ・自動運転による回遊性の向上や賑わいの創出等の地域課題解決可能性の検証
- ・自動運転車両を活用した新しいモビリティサービスの事業性、受容性、有効性の検証

【実施予定時期】

令和3年11月から12月までの間で2週間程度

【実施予定箇所】

臨海副都心エリア シンボルプロムナード公園内

(プロジェクト実施者に関する問い合わせ先)

『自動運転技術を活用したビジネスモデル構築に関するプロジェクト』

受付窓口(日本エ営株)コーポレートコミュニケーション室)メール: c-com@n-koei.co.jp 電話: 03-5276-2454